

2015年度 事業報告



一般社団法人地上放送RMP管理センター
(TRMP)

一般社団法人 地上放送RMP管理センター 2015年度事業報告

【2015年4月1日～2016年3月31日】

1. 事業報告〔概要〕

地上放送RMP管理センターが運用・管理するコンテンツ権利保護専用方式（TRMP方式）は、2015年度、カーナビゲーションシステムの多くの新製品に搭載されるようになり、スマートフォンへの搭載も引き続き好調であった。対応受信機は順調に普及、拡大を続けており、TRMP方式は地上デジタル放送のコンテンツ保護において、より大きな役割をはたしつつある。

2015年度、TRMP方式を採用したカーナビメーカーが倍増し、対応新製品も大幅に増加した。カーナビゲーションシステムにおいては、B-CASカード方式からTRMP方式への移行が、いわば不可逆的に進みつつあり、今後さらに占有率が上昇するものと考えられる。また、いち早く普及が進んだスマートフォンにおいても、大手キャリアの新製品の多くに本方式が搭載される状況が続いている。TRMP方式対応の受信機は順調に普及、拡大を続けており、地上デジタル放送のコンテンツ保護において、より大きな役割を果たしつつある。

一方、普及を支えているメーカー対応には変化の兆しがみられる。新たに契約交渉を始めたメーカーからは、製造、販売についての多様な提案が出され、より複雑な交渉になるケースが増えた。また、契約済みメーカーに対しても、方式の安定運用等のための対応に多くの時間と労力を要するようになった。このため、2015年度、メーカーへの対応力の向上を図ることを目的に事務局体制を一部見直した。組織運営に関しては、総会1回、理事会4回、運営委員会2回、評議委員会1回開催した。

2016年度、地上放送RMP管理センターは、引き続き対応受信機の普及、拡大に向け、受信機メーカーへの適切な対応を行うとともに、メーカー、放送事業者と協力しながら方式の安定運用のための対策を推進する。

2. 各部の事業報告

2-1 技術部

TRMP方式に対応する受信機の普及、拡大に向け、鍵情報の提供やテストストリーム・テスト環境の活用を中心に、受信機メーカーへの対応を行い、TRMP方式の普及を促した。

① 鍵管理システムの運用・管理・保守

「鍵管理システム」を適切に運用・管理し、ライセンス契約を締結した受信機メーカーに対する鍵情報の発行を円滑に実施した。また、定期保守を実施するとともに、必要な機材更新についても準備を行った。

② テスト環境の維持・活用

“テストストリームによる動作確認”の徹底を図るとともに、実運用と同等の環境下で動作検証を行えるテスト環境“テストベッド”を受信機メーカーに提供し、受信機の市場投入後のトラブル防止に向けた支援を行った。

③ 受信機メーカーへの情報の提供

受信機メーカーに対して、TRMP方式に対応した受信機的设计・開発・製造等に必要となる技術情報を適宜提供し、受信機の開発及び市場投入に向けた支援を行った。また、契約済みメーカーに対しても、方式の安定運用のためのさまざまな情報提供を行った。

④ 受信機メーカーとのライセンス契約

受信機メーカーとのライセンス契約にあたり、総務部と連携して説明・調査・審査などを適切に実施した。

⑤ 技術委員会の運営

技術委員会を開催し、関連する技術情報の共有や運用に関わる課題検討を行った。また、TRMP方式の安定運用を念頭に、全会員社において、RMP生成データ確認作業を実施し、秘密情報の管理および責任者等の再確認を行った。

2-2 総務・経理部

2015年度は、業務内容の比重が、これまでのTRMP方式対応受信機の普及、拡大に向けた様々な受信機メーカーとの新規ライセンス契約への対応から、システムの安定運用のために契約済みメーカーの同方式対応受信機の把握や、トラブル防止等の対応へとシフトしてきた1年であった。また、放送事業者・受信機メーカー向け技術・契約・情報管理・提供等に的確に対応するため、事務局機能の整理・充実に努め、効果的、効率的な事業運営を図るための適正な予算管理を行った。

(1) 総務部門

① 関連会議の運営

総務部が事務局を務める、社員総会、理事会、運営委員会、評議委員会等の運営については、全国の会員、委員各位、関係事業者等との密接な連携を図った。詳細は、3-2「TRMPの運営」の通りである。

② ライセンス契約

新規ライセンス契約申請については、技術部と連携して、国内外の様々な形態の受信機メーカーからの複雑化する受信機サプライチェーンや製造スキームの提案について多角的な検討を行い、透明性や公平性を確保した上で、的確かつ迅速に対応した。

③ 契約先受信機メーカーへの対応

ライセンス契約締結後のメーカーに対して、秘密情報の管理や「出荷前報告」による受信機の把握、トラブル防止など、方式の安定運用に向け、適切な対応・フォローを行った。

④ 周知広報活動の実施

TRMPの透明性、公共性を確保した事業運営の観点から、ホームページの活用を図り、的確な周知広報活動を行った。

(2) 経理部門

2015年度は、2014年度の実績を踏まえ、的確な予算執行及び適切な会計処理に努めた。また、今後の事業動向を踏まえ、定期的に予算の執行状況の点検を実施し、効果的、効率的な事業運営に努めた。

2-3 その他

TRMPの透明性、公共性、非営利性の確保に向けて、常に、コンプライアンスとガバナンスを意識し、評議委員会を活用した法人運営に努めた。

3. 会員の状況及び法人の運営

3-1. 会員の状況

区 分	2014年 3月31日現在	2015年 3月31日現在	2016年 3月31日現在
正 会 員	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人
賛助会員	1 社・法人	1 社・法人	1 社・法人
合 計	1 3 0 社・法人	1 3 0 社・法人	1 3 0 社・法人

3-2. TRMPの運営

2015年度に開催された公式会議は以下の通り。

区 分	回 数	開催日
総 会	第10回	2015年6月19日
理事会	第35回 (ML)	2015年4月13日
	第36回	2015年6月2日
	第37回	2015年6月19日
	第38回	2016年2月10日
運営委員会	第20回	2015年5月25日
	第21回	2016年2月3日
評議委員会	第5回	2016年3月30日

※上記の他、技術委員会を開催した。